

船舶事故等調査報告書

平成21年8月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009長第75号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年2月14日 12時20分ごろ	
発生場所	長崎県五島市 富江港	
事故等調査の経過	平成21年6月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 第三十八^{きょうとく}協徳丸、199トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 131285、五島汽船協業組合</p>	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船底に凹損、推進器に曲損	
事故等の経過	<p>本船は、富江港内の岸壁にて間伐材約300トンの積込みを開始し、積込み終了間際に船底が海底に着き始めたので同作業を至急に行った後、船首約1.8m、船尾3.2mの喫水で離岸したが、平成21年2月14日12時20分ごろ、海底に船底及び推進器が接触した。</p> <p>本船は、その後航行し、同年5月造船所にて上架調査したところ、上記の損傷が発見された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北北西、風力 3</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の初期</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、積荷後、離岸作業中、余裕水深の確認を行わなかった可能性があると考えられる。 岸壁からこぼれ落ちた砂の堆積により水深が浅くなっていた可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が積荷後、富江港において離岸作業中、余裕水深の確認を行わなかったため、海底に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	